

建材マンスリー

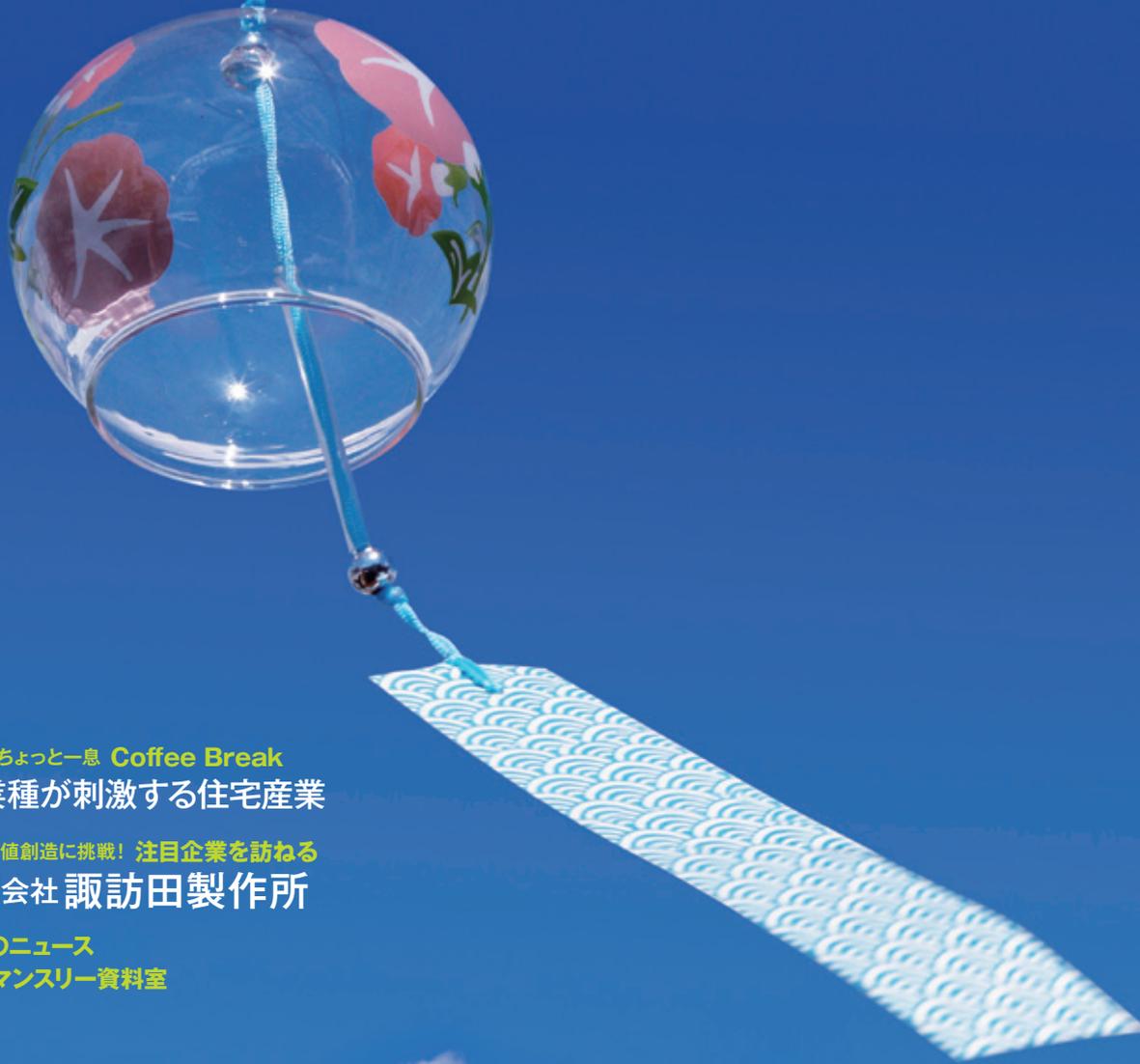
Kenzai Monthly

省エネ建材
誌上EXPO2012

ここでちょっと一息 **Coffee Break**
異業種が刺激する住宅産業

付加価値創造に挑戦! 注目企業を訪ねる
株式会社 諏訪田製作所

今月のニュース
建材マンスリー資料室



夏の暑さを断つ、遮る

日射遮蔽に優れた 外付けブラインド

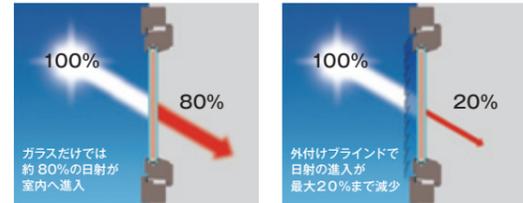
ヴァレーマ
エーデルジャパン (株)

室内ブラインドは、熱せられた窓ガラスの熱を吸収し、室内温度を上昇させることがある。一方、外付けブラインドは、窓の外側で太陽光線を遮断するので、太陽の熱がカットされ、夏季の冷房効率がアップする。「ヴァレーマ」は、日射進入の80%以上を遮断する外付けブラインド。また、窓とブラインドの間に空間を確保することで空気の対流を起し、遮熱性能を高める構造となっている。どのような外壁や窓にも取り付けられるよう、形状の異なるスラット、ガイドレールが用意されている。



外付けブラインド・ヴァレーマの施工例

外付けブラインドの効果



● 問い合わせ先 エーデルジャパン (株)
☎ 0794-72-1555 HP <http://www.edel-bm.co.jp/>

太陽の日射熱を大幅にカット 建物用ウインドーフィルム

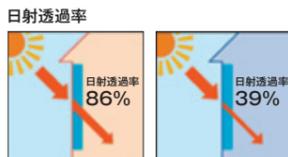
ウインコス
リンテック (株)

建物用ウインドーフィルムの中でも日射調整フィルムは、窓から入り込む日射熱を大幅にカットし、日射熱による室内の温度上昇を防ぐ。特に直射日光の入室窓部分の室温上昇を抑制するのに役立つ。

建物用ウインドーフィルム「ウインコス」の日射調整タイプは24アイテムが揃う。高透明タイプは、ガラスの透明感や採光性を保ちながら、日射調整効果を発揮。独自開発の近赤外線遮断コート加工によって日射を大幅に吸収し、日射透過率を抑える。



日射調整フィルム施工イメージ



● 問い合わせ先 リンテック (株)
☎ 03-3868-7733 HP <http://www.lintec.co.jp/>

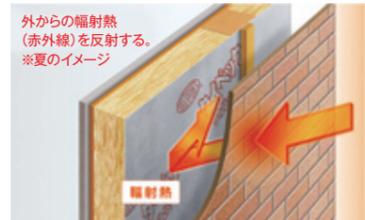
輻射熱を反射させる 遮熱シート

デュボン™ タイベック® シルバー
旭・デュボン フラッシュスパン プロダクツ (株)

強い日射しにより熱を持った外装材から、室内に向けて輻射熱(赤外線)が放射され、躯体を熱くする。外装材と躯体の間に遮熱シートを施工することで、輻射熱を反射し、躯体の蓄熱を防ぐことができる。

「デュボン™ タイベック® シルバー」は、高密度ポリエチレン不織布タイベック®にアルミニウムを蒸着させ、さらにアルミニウムの劣化を防ぐため抗酸化樹脂コーティングを施した遮熱シート。透湿・防水・遮熱に優れている。約85%という高い赤外線反射率を持ち、夏は室外からの強い輻射熱(赤外線)を反射して、室内への熱移動を抑える。

「タイベック®シルバー」の遮熱性



出典:旭・デュボン フラッシュスパン プロダクツ株式会社
デュボン™、およびタイベック®は、米国デュボン社の商標または登録商標です。

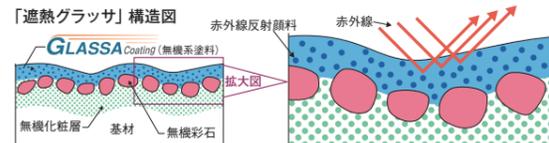
● 問い合わせ先 旭・デュボン フラッシュスパン プロダクツ (株)
☎ 03-5521-2600 HP <http://tyvek.co.jp/>

赤外線を反射し蓄熱を抑える 遮熱機能屋根材

コロニアル遮熱ガラス
ケイミー (株)

太陽熱は屋根材を熱し、屋根裏に蓄熱して輻射熱となり、室内温度を上昇させ、夜になっても室温が下がらない状況を作る。屋根からの熱を遮ることは、夏の暑さ対策として重要である。断熱材と併用して屋根用遮熱材を活用すると、効果的な遮熱対策となる。

屋根の遮熱方法としては、遮熱材を屋根下に敷く方法や遮熱塗料の塗装などがあるが、「コロニアル遮熱ガラス」は、無機系ガラス質コーティング「グラスサコート」に、赤外線を反射する顔料を配合し、遮熱機能を付加させた、平形屋根用シートだ。熱源となる太陽光の赤外線を反射させ、屋根材への温度上昇を抑え、屋根裏への蓄熱を大幅に減少させる。



赤外線反射顔料が、熱源となる太陽光の赤外線を反射させる

● 問い合わせ先 ケイミー (株)
☎ 0570-005-611 HP <http://www.kmew.co.jp/>

特集

建材マンスリー

省エネ建材

誌上 EXPO 2012

住宅に求められる省エネ性能は、年々高レベルになってきている。それに呼応するように、新しい省エネ建材が続々と登場し、さまざまなバリエーションを見せている。今号では、住まいの省エネ化に役立つさまざまな製品を集めて、紹介する。

バリエーション広がる 省エネ建材

外の暑さや寒さの影響を受けやすい、外壁・屋根・天井・床・窓などからの熱の出入りを防ぐのが、住宅の省エネルギー化の基本といえる。

断熱性、気密性、日射遮蔽性を高める省エネ建材としては、家全体をすっぽり包み込んで熱の伝導を抑える断熱材、日射熱を反射させて建物内に進入させない遮熱材、窓などの開口部からの熱の流れを遮断する複層ガラスや断熱サッシ、断熱ドアなどが挙げられるだろう。

断熱材は繊維系と発泡プラスチック系に分かれる。遮熱性を備えた建材としては、遮熱シート、遮熱塗料、遮熱屋根材などが販売されている。また、気密性をサポートする材料としては、防湿・気密フィルム、気密テープ、気密パッキンなどが並ぶ。

日射をカットするオーニングやブラインド、ルーバー、窓ガラスからの日射熱を防ぐ日射調整フィルムなども、省エネ効果の高い建材といえるだろう。屋上緑化や壁面緑化も建物の蓄熱を減少させ、室内温度の上昇を抑制し、エアコンなどの節電効果やヒートアイランド対策としても期待されている。

太陽エネルギーを有効利用する太陽光発電

電や太陽熱温水器、太陽光採光システムは、太陽の光や熱を直接利用して、電気やガスの消費量を低減する。熱回収による加熱を行なうヒートポンプ暖房やヒートポンプ給湯などでは、電気やガスだけでなく、地中熱や排熱などあらゆる熱エネルギーの利用が進められている。

これらの建材は、省エネ住宅の基本といえるだろう。省エネルギー基準が「次世代省エネ基準」から「トップランナー基準」さらに「ゼロ・エネルギー住宅」へと変化するなか、建材の省エネ性能は常に高いレベルへの移行を求められている。今号では、続々と登場する新しい建材から、より先進的な省エネ化の一助となる製品を紹介していきたい。



冬を暖かく過ごす

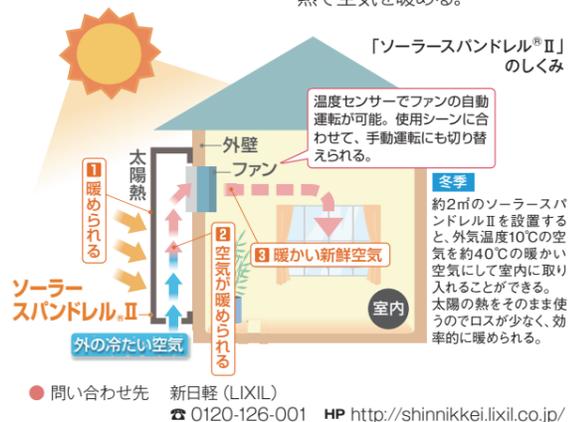
手軽に太陽エネルギーを活用 太陽熱集熱外壁パネル

ソーラーспандレル®II
新日軽 (LIXIL)



「ソーラーспандレル®II」施工例

太陽エネルギーの利用法には、太陽光発電やソーラーシステム以外に、太陽熱を蓄熱して効果的に用いる方法がある。太陽熱集熱外壁パネルは、太陽エネルギーを外壁に熱として蓄え、建物の室温調整に用いることによって省エネに貢献する。「ソーラーспандレル®II」は、太陽光で暖められたспандレル(外壁パネル)と躯体との間の空気を、給気ファンで室内に取り込むシンプルな構造。外壁を太陽エネルギーで暖め、その熱で空気を暖める。



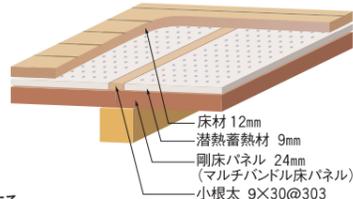
部屋の温度を一定に保つ 蓄熱材

パッシブ・スミターマル
住化プラスチック (株)



部屋の気温を安定させるのに利用できるのが蓄熱材だ。蓄熱には、顕熱方式と、潜熱方式がある。コンクリートやレンガなど、熱容量の大きなものに熱を蓄える顕熱方式に対し、潜熱方式では、蓄熱材が固体から液体に変わる際には熱を溜め続け、また、液体から固体に変わる際には熱を放出する。それぞれの温度は、蓄熱材の材料や配合によって自由に設定できる。「パッシブ・スミターマル」は床用蓄熱パネルで、暖房や日射などで部屋が暖められると中の蓄熱材が23℃で融け始め、熱を蓄えて部屋の温度の上がり過ぎを抑える。逆に部屋の気温が下がってくると19℃で固体に戻り、蓄えた熱を放熱する。このように20℃前後で蓄熱・放熱して、急激な温度の変化を抑え、快適な住環境を保つ。

「スミターマル」の仕様



冬の太陽熱を有効利用する



● 問い合わせ先 住化プラスチック (株)
☎ 03-5543-5846 yukadanbo@sumikapla.co.jp
HP <http://www.sumikapla.co.jp/>



心地よい住環境を演出する

室内の湿度を調整する 調湿材

炭八
出雲カーボン (株)

湿度が高いときには吸湿し、低いときには放湿して室内の湿度を調整するのが調湿剤。石や木などの多孔質性を利用して、吸放湿を行なう。材料は、木炭やゼオライト、シリカゲル、珪藻土などがある。

調湿木炭「炭八」は、建材としての木炭だ。チップ状の炭が不燃布の袋に12リットル詰められている。床下調湿には、床下の土間あるいはコンクリートの上に袋のまま敷き詰める。施工後の測定結果では、床下の湿度が最大で15%低下し、木材含水率は4年間で3.9%減少している。

● 問い合わせ先 出雲カーボン (株)
☎ 0853-24-8808 HP <http://www.sumi8.jp/>

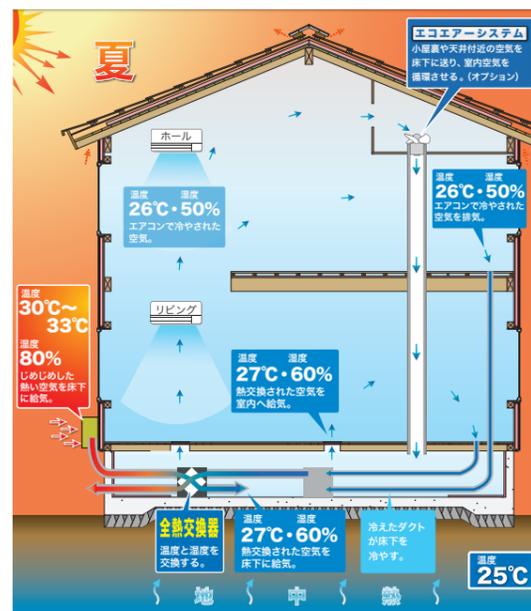
調湿木炭「炭八」



床下調湿は床板を外し、床下に敷き詰める

地中熱も利用 全熱交換換気システム

澄家 Eco 換気システム
株式会社 マーベックス



熱交換による冷房省エネのメカニズム



地下に設置される「澄家 Eco 換気システム」の全熱交換器

熱交換換気システムで換気時に冷暖房のエネルギーを回収すれば、エネルギーの損失を小さくできる。熱交換には、熱(顕熱)のみを回収する顕熱交換型と、熱と湿気(潜熱)を交換する全熱交換型があり、全熱交換型のほうが高い省エネ効果を発揮する。「澄家 Eco 換気システム」は、全熱交換だけでなく、夏は涼しく冬は暖かい「地中熱」を利用して、より大きな省エネ効果を上げる。夏は、排気との熱交換によって温度と湿度が下がった外気と、地中熱で冷やされた床下の空気が混じり合い、室内に給気される。冬は、熱交換で温度と湿度が上がった外気を地中熱でさらに暖め、室内に給気する。

ムラなく24時間暖める 蓄熱暖房器

エルサーマット®
日本スティーベル (株)

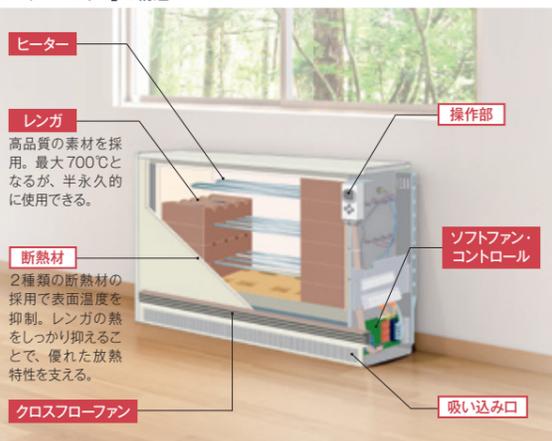
夜間の安い電力を使って蓄熱体を暖め、昼間に蓄熱体から放出される熱で暖房するのが蓄熱式暖房器だ。輻射熱で床や壁、天井を暖めるので、部屋全体がムラなく暖まり、快適な室内空間を作る。

「エルサーマット®」は、優れた蓄熱体であるレンガをヒーターで効率よく暖め、蓄熱された熱をムラなく取り出す。蓄熱量と室温を連動させて無駄な放熱をしないシステムなので、24時間快適な室温を保てる。また、外気温の変化を検知して毎日の蓄熱量を自動コントロールするので、蓄熱量を設定する必要がない。



「エルサーマット®」

「エルサーマット®」の構造



● 問い合わせ先 日本スティーベル (株)
☎ 044-540-3200 HP <http://www.nihonstiebel.co.jp/>

特集 建材マンスリー
省エネ建材
誌上 EXPO 2012

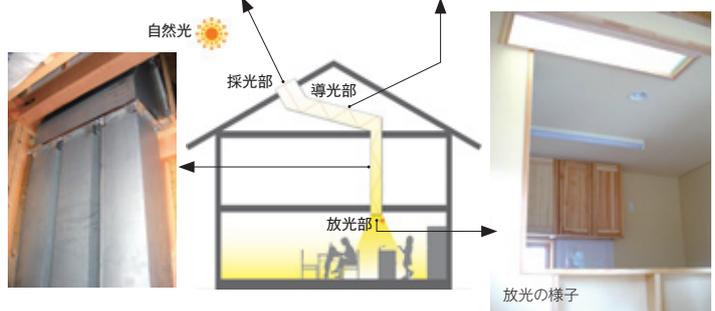
窓のない部屋に自然光を届ける
太陽光採光システム

どこでも光窓

東洋鋼板(株)

太陽光採光システムは、自然採光が難しい部屋や空間に太陽光を取り込むことを可能にするものだ。反射鏡やプリズム、レンズで太陽光を集め、ダクトや光ファイバーを通して各部屋に光を運び、日中の室内照明として利用する。「どこでも光窓」は、トップライトなどから内部が鏡面になったダクトの中に太陽光を取り込み、ダクト中で反射を繰り返させて自然光を届ける採光システム。鏡面には、高効率反射材の銀鏡メッキ鋼板「ミラーコートK」を採用している。光ファイバー方式に比べてインシタルコストが安く、シンプルな構造なため、ランニングコストはかからない。

「どこでも光窓」の住宅施工例



● 問い合わせ先 東洋鋼板(株)
☎ 03-5211-0108 HP <http://www.toyokohan.co.jp/>

雨水の有効利用
雨水貯留タンク

エコレイン

フクビ化学工業(株)

雨水貯留タンクを設置すれば、雨水の有効活用が可能だ。屋根に降った雨水をタンクに溜め、庭の散水や洗車用水として利用する。非常時の生活用水、消火用水などにも利用できる。

「エコレイン」は家庭用の雨水タンクで、雨どいに分流器を設置し、200リットルの貯水タンクに雨水を溜める。分流器には降り始めの初期雨水をカットする機能があり、屋根の汚れがタンクに入るのを防ぐ。飲用としての利用はできないが、庭木への水やりなどの雑用水としては、ほぼ無処理で使える。



雨水貯留タンク「エコレイン」

● 問い合わせ先 フクビ化学工業(株)
☎ 0776-38-8013
HP <http://www.fukuvi.co.jp/>

手軽にソーラー発電
蓄電式太陽光発電システム

SOL Bank f-280

(株)ファクト

太陽光発電による電力を貯蔵するには、大容量の家庭用蓄電システムが必要だが、設置にはかなりの費用がかかる。しかし蓄電できないと、夜間や悪天候時には使えない。そこで、万が一のときにも電気を使えるように「太陽光発電」と「蓄電池」を組み合わせるのが蓄電式太陽光発電システムだ。



蓄電式太陽光発電システム
[SOL Bank f-280]

「SOL Bank f-280」は、蓄電池が搭載されたソーラーパネル。工事の必要のない組み立てキットで、マンションのベランダ等、陽当たりのよいところならどこでも発電・蓄電できる。蓄電容量は312Whで、1 LED電球(6.9W)が約46時間連続使用できる。

● 問い合わせ先 (株)ファクト
☎ 03-3767-7671
HP <http://www.fact-inc.co.jp/>

個々の商品については、各メーカーにお問い合わせください。
それ以外については、下記へお問い合わせください。

住友林業 木材建材事業本部 木材建材部 ☎ 03-3214-3400





藤井繁子

『月刊 HOUSING』元編集長、現在リクルート住宅総研主任研究員や神奈川県総合計画審議会委員も務める住生活ジャーナリスト。ブログ『Vivien 研究員の住宅業界 REPORT』更新中!

異業種が刺激する住宅産業

住宅産業の可能性を探る「HOUSE VISION」展

デザイナーの原研哉が構想する「HOUSE VISION」の展覧会が来年3月2～24日にお台場で開催されるという発表会があり、企画企業6社(LIXIL、良品計画、カルチュア・コンビニエンス・クラブ、TOTO、YKK AP、サントリーミドリエ)の代表者が顔をそろえました。「家」をこれからの産業の交差点と考え、住宅産業だけでなく異業種を巻き込んで建築家などクリエイターとコラボレーションし、「家」の可能性を具現化しようとするイベント。この他にもHondaやメックecoライブが参加。そして住友林業が「数寄の家」というコンセプトで世界的に活躍する建築家・現代美術作家である杉本博司と日本の美に挑戦するという事です。(参加クリエイターは伊東豊雄、山本理顕、坂茂、成瀬友梨・猪熊純、藤本壮介、末光弘和、東信など。参加企業/クリエイターは今後追加の予定)

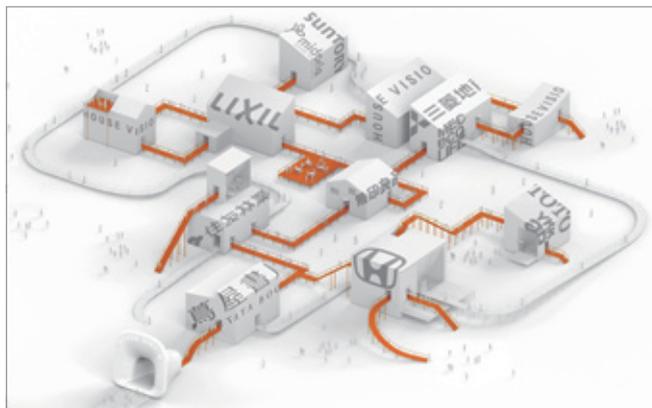
“新しい常識で家をつくる”とHOUSE VISIONが掲げるように、企業とクリエイターが住宅の枠にとらわれない発想で表現するこのような場合は、住宅産業に新たな顧客を生む機会となり、各企業にとっても新たな可能性を実感できる場となることでしょう。会場の全体構成を担当する建築家の隈研吾は、「日本の家に対する評価は二分されていて、現在の住まいには工業化社会の惰性として残っている部分がある。新たな取り組み方によっては世界で戦える産業になりうる」と、住宅産業の課題からも展示会の意義を語りました。

TSUTAYAが見せてくれたライフスタイル提案

発表会参加企業の中で注目したのは、TSUTAYAを展開するカルチュア・コンビニエンス・クラブ(以下CCC)の増田宗昭社長。「消費者に編集権が移っていく時代にサプライヤーの形も変わらなければならない」と語り、「カルチュア・インフラ」をつくる”を標榜す



DAIKANYAMA T-SITE・代官山 蔦屋書店
“T”をモチーフにした外観、2階建て3棟で構成されている。“森の中の図書館”が構想イメージ。複合店舗の「GARDEN」ゾーンが隣接。ラウンジ「Anjin」にはライフスタイル誌のバックナンバーがずらりと並ぶ。プレミアエイジ(50-65歳)へのライフスタイル提案らしく、ジャズ音楽と共にゆったりと豊かな時間が流れる空間だ(建築雑誌のゾーンにて)



会場イメージ(2012年6月現在) 東京・お台場のゆりかもめ「青海」駅 隈研吾が会場基本プラットフォームを設計。各社のエキジビション・ハウスを観覧ブリッジで廻る独創的な構成。開催期間3週間に予定来場者数6万人が来たら見学渋滞しそう……

HOUSE VISIONの記者会見にそろった各社代表者

モデレーターの原氏・会場設計の隈氏と、LIXIL 藤森社長など居並ぶ各社トップの中でひときわオーラを放っていたCCC増田社長、61歳。足元の白スニーカーが光ってる!



るCCC社が家というインフラの可能性をどんな風に演出してくれるのか楽しみになりました。

というのも、昨年オープンした「代官山 蔦屋書店」を体験し、時代の消費者ニーズの捉え方やその実現力に脱帽したからです。

CCC社が展開する書店には、六本木ヒルズ店(03年～)のように購入前の本をカフェで読める「BOOK&CAFE」をコンセプトにした店舗があり、本を売るこの前に、本を手にするきっかけづくりや選ぶ楽しみを提案しています。活字離れ、ペーパーレスと言われて久しい中、市場/ターゲットの正しい分析と生活者ニーズを掘り下げることで、感動と共感によって事業を拡大しています(2012年3月期の全店舗総売末端書籍・雑誌売上は前年対比107.4%の1047億円)。住宅市場においても、学ぶことの多い成功事例です。ストック住宅市場になれば更に、個別ニーズに対応した提案が市場獲得のカギとなるでしょう。このような他業種からの刺激を受けながら住宅産業の発想が広がっていく動きに期待したいと思います。



延べ50人の職人の手を経て完成する「SUWADA」の爪切り

株式会社 諏訪田製作所



代表取締役
小林 知行 氏

株式会社 諏訪田製作所

- 本社 新潟県三条市高安寺 1332番地
- 創業 1926年
- 資本金 1000万円
- 売上高 4億6056万円(2012年3月期)
- 従業員 40名
- 事業内容 爪切り、盆栽用特殊刃物などの製造・販売



美術館のような工場のエントランス

刃物の本質はよく切れ切れ味が落ちないこと

「私たちは鍛冶屋ですから」

小林知行社長から、何度も口をついて出る「鍛冶屋」という言葉。金属を熱して叩いて鍛え、削って磨いて製品に仕上げるのが鍛冶の仕事だ。小林社長の鍛冶屋へのこだわりは強い。

「鍛冶屋のなかでも私たちは「刃物鍛冶」で「喰い切り」の鍛冶屋です。喰い切りというのは、左右の刃と刃ではさんで切る道具のことを言います。刃物鍛冶は刃物を作る

るのが仕事。そして、刃物はよく切れることが基本です。『とりあえず切れる』という刃物では、刃物の本質的価値を踏み外しているように思うんです。

そこでよく切れるにはどうしたらよいかを突き詰めていくと、NC機械などを使わない、量産もしない、職人の手で作り込んでいく、というところに行き着くんです」

SUWADAのブランドで世界にも名を知られるニッパー型の爪切りは、二丁6000円以上する。しかし、『とりあえず切れる』爪切りが安く手に入るにもかかわらず、SUWADAの爪切りを愛用する



機能を重視した美しいフォルムの爪切り



足用(上)の刃先は定番(下)と異なる



上左・ハンドルが樹脂の滑りにくい爪切り
上右・栗の鬼皮と洗皮が一度にむける「栗くり坊主」
下・盆栽用の各種枝切りバサミ



ファンは多い。美しいフォルムも魅力だが、とにかくよく切れて、いつまでも切れ味が変わらないのが、購入の一番の理由のようだ。ところがこの爪切り、三代目の小林社長が会社に入ったときには、月間100丁ほどしか製造していなかったという。

「私が入社した20年前に、1000丁作ってくれと職人に頼んだら、怒られました。1年かかるよと。当時は、高級なものを丹精

作り方のモデルチェンジを行なった。

「今までの2倍作れるように、作業工程や作業内容を変えました。ただし、良い物を作るための鍛冶の基本は、いっさい妥協しませんでした。まず材料が命ですから、素材を鍛える鍛冶は自社で行ない、緻密な組織構造の材料に仕上げています。この材料の違いは見た目では区別がつかないのですが、コピー品が世界中に出回っていますが、使ってみればわかります。形は真似ができません、性能は真似できないんです」

だ。一つの製品が完成するまでに、約50の工程が必要となる。職人は自分の作業工程を終えると、次の工程の職人に渡す。まるでバトンリレーのような分業だ。材料を鍛える鍛冶から最後の検品まで、延べ50人の手が加えられ、SUWADAの爪切りは出上がる。

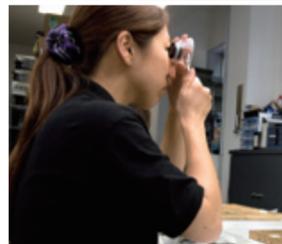
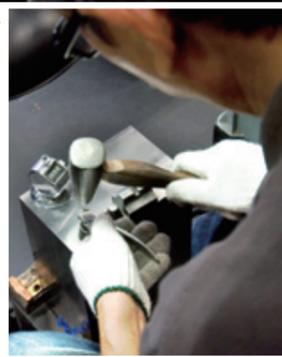
「作業工程の8割は研磨で、紙やすりから石、布、スポンジまで、粗さの違う素材で磨きます。ノギスもゲージも使わずに、職人のイメージ、勘が頼りです」

伝統の鍛冶技術を失わせない

諏訪田製作所は、ドイツの名門刃物メーカー、ヘンケルスの爪切りを、ODM(設計から製造までを受託で引き受けている。



徐々に細かい研磨材料に変えながら、少しずつ完成形に近づけていく



上・金槌でいねいに叩いて形を調整
下・細かい傷も見逃さない検品

15年ほど前から、職人の仕事を能力給として算定している。頑張っている人をきちんと評価したいという思いからだ。給与は、作業記録の膨大なデータを数値化して決める。仕事のうまい人ほど高い、早い人ほど高い、とシンプルだ。

うちでは、日本でも消えつつある「鍛接」や「和釘」の技術を職人に修得させています。それを正業にはしていませんが、経験として大事だと思うからです」

「習熟度合いの違う職人が40人いますので、徹底的に数値化して、公平公正を期そうと努力しています。出てきた数字を踏まえて、最後は私も職人としての立場で、給料について一人ひとりと話し合います」

小林社長の自社製品への自信は、「オーブン・ファクトリー」の作業工程を見れば納得がいく。昨年11月から、工場を公開して、誰でもいつでも職人たちの作業風景をガラス越しに見学できるようにしたものを



金属を鍛える鍛冶の様子もガラス越しに見学できる

込めて作ることは必要とされない時代だったんですね。だから、簡単にたくさん作れるものしか作らなくなっていた。でもそれでは価格競争に太刀打ちできないんです。そこでこれからは、お客さんよいと言ってくれる、この爪切りを作っていることと決心しました。それがなぜできたかというところ、細々ながらも私たちには、80年前の創業時の手づくり技術が残っていたからです」

見えないところにこそ心を砕く
職業的良心が品質を守る

爪切りを主力商品に据えることに、ベテランの職人たちは積極的ではなかった。それは、作るのに手間がかかるからだ。そこで、商品のモデルチェンジ、とともに、

「国土交通白書」 震災後、住宅の耐震化と省エネ化が重視される

業界ニュース

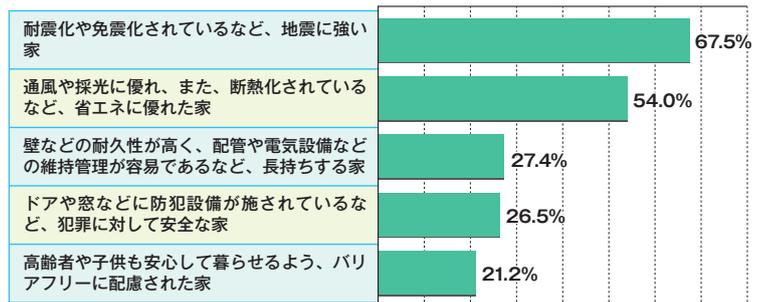
「平成23年度国土交通白書」が7月6日に公表された。今回の白書は、東日本大震災後の国民意識を踏まえ、国土交通行政の転換と「国土・地域づくり」についてまとめたものだ。白書には国土交通省が今年1月末～2月に実施した「国民意識調査」が掲載されており、興味深い結果が出ている。

「東日本大震災後の考え方の変化」については、「防災意識の高まり」(52・0%)が最も多く、「節電意識の高まり」(43・8%)、「家族の絆の大切さ」(39・9%)が続いている。

また、震災後は、不動産の災害リスクへの関心が高まっている。「主要都市の高度利用地地価動向報告」(2011年第3四半期)によると、直接の被災地ではない東京圏においても、湾岸エリアの物件や高層マンションの高層階への需要減退が見られ、中古物件の耐震性への不安感を持つ人が増えた。今回の「国民意識調査」でも、

住宅性能で重視すること

住宅の性能に関して、どのような点を重視しますか。(3つまで)



(出典：国土交通省「国土交通白書」の国民意識調査)

重視する住宅性能として、「耐震化や免震化など、地震に強い家」が最も多く(67・5%)、次いで「省エネに優れた家」(54・0%)が挙げられた。

なお、2011年10月に住宅金融支援機構が実施した調査では、住宅取得時に「耐震性能」「省エネ性能」を重視し、コストアップをしてもこれらの性能を高めたいと回答した人のうち約8割が、5～10%までのコストアップなら許容できると回答している。

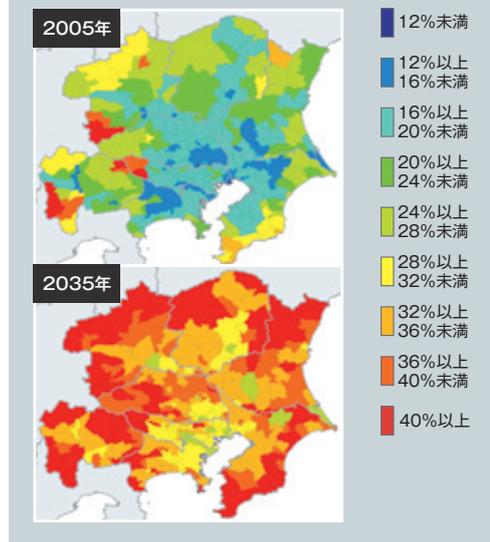
重視する住宅性能として、「耐震化や免震化など、地震に強い家」が最も多く(67・5%)、次いで「省エネに優れた家」(54・0%)が挙げられた。

なお、2011年10月に住宅金融支援機構が実施した調査では、住宅取得時に「耐震性能」「省エネ性能」を重視し、コストアップをしてもこれらの性能を高めたいと回答した人のうち約8割が、5～10%までのコストアップなら許容できると回答している。

「首都圏白書」 2035年、高齢化、人口減が進む首都圏、空き家が増加

業界ニュース

首都圏の高齢化率の将来推計 (2005年→2035年)



(出典：国土交通省「平成23年度首都圏白書」)

国土交通省は、「平成23年度首都圏整備に関する年次報告(首都圏白書)」を閣議に提出し、了承された。「首都圏白書」は、首都圏の整備計画に関する状況について、法律に基づいて毎年国会に報告されるもの。今回の動向分析では、「首都圏の経済活力低下の懸念」「老いる東京圏」「首都圏のDID(人口集中地区)縮退の可能性」などのテーマを設定。

高齢化に関しては、生産人口の減少で、東京圏の経済活力が将来低下する懸念が指摘されている。現在、高齢化率が低い首都圏でも、今後は高齢化率の上昇と高齢者人口の大幅な増加が予測される。東京圏は高齢化率、高齢者人口ともに、関西圏、名古屋圏を

大きく上回る見込みだといえる。

また、人口数や世帯数の減少による住宅ストックの増加についても、問題点が指摘される。日本の人口が減少する中で、首都圏の人口も減少していくのは確実で、それに伴い「人口集中地区」が縮退することが考えられる。このことは、空き家や空き宅地の増加などを引き起こす一つの要因となる。

首都圏の新設住宅着工戸数は、2000年以降は40万戸半ばで落ち着いているが、現在、住宅ストック数は世帯数を上回っている。今後、「人口集中地区」の縮退に伴う世帯数の減少が、空き家などの増加をもたらさないような対策が必要だとされている。

編集室より 広告募集中!

広告掲載・製品紹介のご相談、誌面に対するご意見、ご感想は建材マンスリー編集室専用アドレスまでお寄せください。

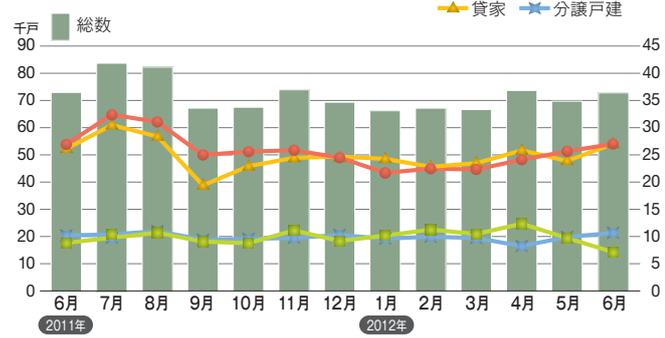
kenzai-monthly@sfc.co.jp
住友林業株式会社 木材建材事業本部 事業開発部 (片岡・齋藤)

【編集後記】 今年も暑い暑い夏になりました。本号の特集では、その暑さ対策、年間を通しての省エネのための建材をご紹介します。ぜひ自宅にもと思うのですが、大がかりな工事にはなかなか踏み切れません。せめて省エネ高効率の扇風機をと思ったら、お目当ての商品はすでに売り切れ。仕方なくエアコンと併用するためのサーキュレーターを購入したところ、室温のムラが少なくなっただけで想像以上に快適です。なるべく電気に頼らず自然の温度差や風をうまく取り入れたいのですが、この暑さではなかなか難しいですね。まずは身体が第一、できる範囲で節電に取り組み、この夏を乗り切りたいと思っています。(S)

2012年6月の新設住宅着工 △は減

		6月					5月	4月	3月
		対前月比 (戸) (%)		対前年同月比 (戸) (%)					
新設住宅計		72,566	2,928	4.2	△121	△0.2	69,638	73,647	66,597
建築主別	公共	2,407	845	54.1	639	36.1	1,562	2,036	1,910
	民間	70,159	2,083	3.1	△760	△1.1	68,076	71,611	64,687
利用関係別	持家	26,971	1,503	5.9	40	0.1	25,468	24,137	22,335
	貸家	26,976	3,123	13.1	855	3.3	23,853	25,823	23,468
	給与住宅	895	222	33.0	350	64.2	673	718	549
	分譲住宅	17,724	△1,920	△9.8	△1,366	△7.2	19,644	22,969	20,245
	うちマンション	7,036	△2,652	△27.4	△1,776	△20.2	9,688	13,734	10,441
	うち戸建	10,647	766	7.8	444	4.4	9,881	9,147	9,703
資金別	民間資金	62,347	2,147	3.6	1,789	3.0	60,200	64,334	56,756
	公的資金	10,219	781	8.3	△1,910	△15.7	9,438	9,313	9,841
	公営住宅	2,184	975	80.6	607	38.5	1,209	1,605	1,722
	住宅金融支援機構住宅	4,608	22	0.5	△1,350	△22.7	4,586	4,137	4,394
	都市再生機構住宅	0	△54	△100.0	△51	△100.0	54	0	0
	その他住宅	3,427	△162	△4.5	△1,116	△24.6	3,589	3,571	3,725
構造別	木造	40,912	2,713	7.1	663	1.6	38,199	37,112	35,612
	非木造	31,654	215	0.7	△784	△2.4	31,439	36,535	30,985
	鉄骨鉄筋コンクリート造	330	65	24.5	△719	△68.5	265	394	850
	鉄筋コンクリート造	18,664	△1,082	△5.5	483	2.7	19,746	25,138	20,500
	鉄骨造	12,455	1,111	9.8	△617	△4.7	11,344	10,906	9,550
	コンクリートブロック造 その他	118 87	76 45	181.0 107.1	74 △5	168.2 △5.4	42 42	59 38	44 41

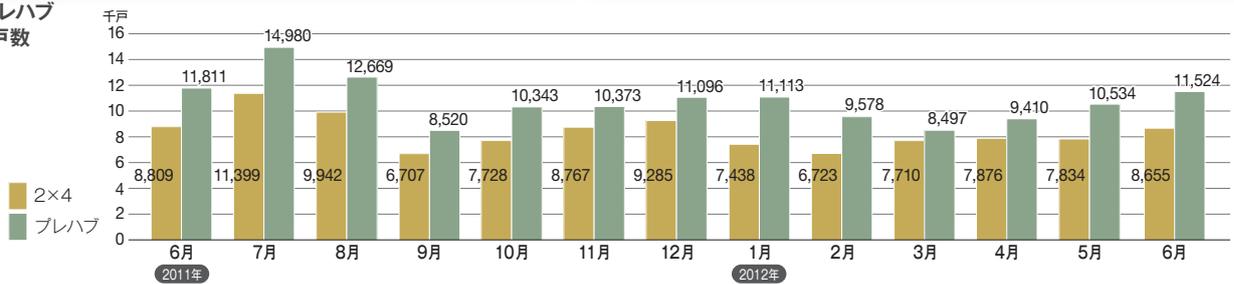
利用関係別戸数



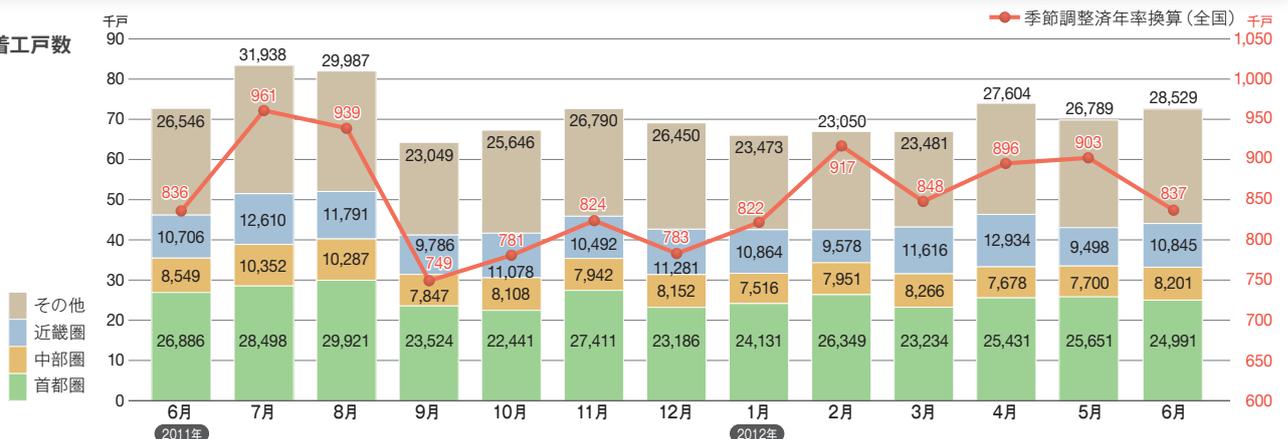
構造別 木造戸数



2×4、プレハブ
新設住宅戸数



都市圏別
新設住宅着工戸数



パネルが保温する放熱する…これも鉄のメリット 一年中どこでも快適！住空間

冬 暖かく

夏 涼しく



革新的！先進！の構造材
それがKITOTETUパネル

KITOTETUパネルは
外断熱を標準採用

特殊鋼板を素材にしたKITOTETUパネルは、熱しやすく、冷めやすいという熱伝導率の高い鉄の特性をいかした蓄熱効果もメリットのひとつ。あわせて、外断熱工法の標準採用により、外気熱をシャットアウト。冬暖かく、夏涼しい、春夏秋冬……一年を通じてどの部屋でも一定温度を保ち、より快適な住空間をつくりだします。また、壁内の結露も最小限におさえこみ、カビ、ダニの発生を防ぎます。

KITOTETUパネルの蓄熱効果実験



KITOTETUパネルと外断熱、通常の外断熱、グラスウール断熱の3タイプを設置し実験。蓄熱、結露、遮音の効果を測定。

木造軸組工法の究極の構造材、それがKITOTETUパネル。耐腐食にすぐれた日新製鋼の構造用鋼板ZAM®を素材に、CADデータをもとにミリ単位の精度でオーダーメイド加工。同時に工場の間柱、断熱材を取付加工し現場に届けます。筋交いかわりに、柱間にビス止めで組みこまれるKITOTETUパネルは、壁倍率を高め、耐震性能を大幅にアップさせるだけでなく、吸震、蓄熱、遮音、環境対応など様々なメリットをあわせ持っています。

KITOTETUパネル

あたたかい家 強い家 やさしい家



製造元 株式会社トア
関東支店 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町4-21-22
Tel.048-468-1980(担当 菅沼・織田)
www.toa-gr.com



企画・販売元 株式会社ハウスギア
〒277-0044 千葉県柏市新逆井2-1-18
Tel.04-7170-6200
www.house-gear.net